

2024年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月13日

上場会社名 株式会社三葉 上場取引所 東
コード番号 161A URL <https://www.e-mitsuba.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北田 健二
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)今塩屋 美佐子 (TEL) 093 (475) 4192
定時株主総会開催予定日 2024年10月28日 配当支払開始予定日 -
発行者情報提出予定日 2024年10月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期の連結業績(2023年8月1日~2024年7月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	2,936	5.5	21	△84.4	77	△49.9	37	△60.0
2023年7月期	2,784	6.7	135	-	155	-	94	-
(注) 包括利益	2024年7月期		37百万円(△60.0%)		2023年7月期		94百万円(-%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年7月期	37.83	-	35.8	8.7	0.7
2023年7月期	94.56	-	238.9	17.8	4.9

(参考) 持分法投資損益 2024年7月期 -百万円 2023年7月期 -百万円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 2 当社は、2024年1月5日付けで、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。2023年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	879	124	14.2	124.69
2023年7月期	918	86	9.5	86.86

(参考) 自己資本 2024年7月期 124百万円 2023年7月期 86百万円

(注) 当社は、2024年1月5日付けで、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。2023年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年7月期	△5	△27	△44	152
2023年7月期	116	△17	△60	229

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年7月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2024年7月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2025年7月期(予想)	0.00	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,167	7.9	27	28.6	45	△41.0	31	△16.7	31.50

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年7月期	1,000,000株	2023年7月期	1,000,000株
----------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年7月期	-株	2023年7月期	-株
----------	----	----------	----

③ 期中平均株式数

2024年7月期	1,000,000株	2023年7月期	1,000,000株
----------	------------	----------	------------

（注）1 当社は、2024年1月5日付けで、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。このため、当連結会計期間、前連結会計年度にかかる株式数につきましては、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページの「（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「みんなを笑顔に」の経営理念の基に、「一人でも多くの子ども達の未来を獲得し、ご家族の笑顔を取り戻すことが私達の使命である」をミッションとして掲げ、児童発達支援・放課後等デイサービス等を行うCOMPASS事業、みつば会幼児教室を行う幼児教育事業、学習教材の販売事業を展開しており、これらのサービスを通じて、個々の療育に加え、学習支援、生活支援、社会性の育成にも注力し、将来を見据えた事業活動をしております。

当連結会計年度においては、海外経済が緩やかな成長を続けるもとの、国内では緩和的な金融環境などを背景に、所得から支出への前向きの循環メカニズムが徐々に強まることから、成長への動きが見られました。しかし、経済のリスク要因が顕在化した場合には、物価にも影響が及ぶことが考えられるほか、企業の賃金・価格設定行動は積極化していることから、不確実性が強い状況が続いております。

当社グループでは、このような事業環境の中、COMPASSの療育施設においては、新規事業所開設は概ね予定通り進んだことに加え、既存施設も当初計画通りの稼働率を達成致しました。しかし、4月の報酬改定によるマイナス効果に加え、一部の新規開設施設における利用者数が計画を下回ったことから計画比マイナスとなりましたが、全体的に利用者は堅調に推移しており、連続増収決算となっております。

児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者の利便性を向上させるため、障がい児通所施設を7施設開設、1施設廃止、相談支援事業所を2施設開設した結果、当連結会計年度末における当社グループの拠点数は、障がい児通所施設74拠点、相談支援事業所16拠点、グループホーム1拠点、生活介護1拠点となりました。

各都道府県における積極的なマーケティング活動により、個々の療育環境を整備し、施設の開設や施設利用者の利便性を向上させる機能拡充に努めてまいりました。以上の結果、当社の当連結会計年度の売上高は2,936,541千円（前年同期比5.5%の増加）、営業利益は21,214千円（前年同期比84.4%の減少）、経常利益は77,950千円（前年同期比49.9%の減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は37,827千円（前年同期比60.0%の減少）となりました。

なお、当社グループは、教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産額は879,681千円となり、前連結会計年度と比較し38,777千円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債総額は754,993千円となり、前連結会計年度と比較し76,605千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等、長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は124,688千円となり、前連結会計年度と比較し37,827千円増加いたしました。主な要因は、親会社に帰属する当期純利益の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は152,662千円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5,030千円の支出（前年同期は116,387千円の収入）となりました。これは、税金等調整前当期純利益72,495千円、減価償却費13,909千円などの資金増加要因に対し、法人税等の支払額99,301千円、売上債権の増加16,573千円などの資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは27,472千円の支出（前年同期は17,901千円の支出）となりました。これは、有形固定資産取得による支出27,631千円などの資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは44,577千円の支出（前年同期は60,903千円の支出）となりました。これは、

長期借入による収入50,000千円の資金増加要因に対し、長期借入金の返済による支出94,577千円の資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、緩和的な金融環境などを背景に、支出への前向きな循環メカニズムが徐々に強まることから、成長への動きが見られました。経済リスク要因が顕在化した場合には、物価高騰が続くことが考えられ、不確実性が強い状況が続いております。

このような環境下、経済リスクの影響が少ない当社グループは、成長に向けた積極的な支援項目の拡充、新たな拠点への新規児童発達支援センターの開設、地域中核施設としての医療機関との連携を強化、YouTube等のSNS発信も強化し、多くの子ども達へCOMPASS教育メソッドを届けるため、中期経営計画に基づく施策を実施することで、参入障壁が高まる中、差別化を強固なものとし、収益基盤の維持、拡大を目指して参ります。

上記のことから、2025年7月期の業績予想といたしましては、売上高3,167,569千円、営業利益27,281千円、経常利益45,976千円、親会社株主に帰属する当期純利益31,504千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	229,743	152,662
売掛金	501,733	518,212
未収入金	46,888	56,387
商品	19,776	24,320
その他	30,430	38,164
貸倒引当金	△81	△50
流動資産合計	828,490	789,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,318	39,152
その他（純額）	5,949	13,803
有形固定資産合計	43,267	52,955
無形固定資産		
その他	1,062	777
無形固定資産合計	1,062	777
投資その他の資産		
繰延税金資産	28,003	25,106
その他	17,634	11,144
投資その他の資産合計	45,637	36,250
固定資産合計	89,968	89,984
資産合計	918,458	879,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,772	11,934
短期借入金	220,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	40,004	35,408
未払金	44,735	50,314
未払費用	130,502	154,401
未払法人税等	65,196	3,407
預り金	99,909	92,531
賞与引当金	28,683	35,046
その他	2,963	2,362
流動負債合計	643,769	605,406
固定負債		
長期借入金	185,735	145,754
退職給付に係る負債	2,093	3,832
固定負債合計	187,828	149,586
負債合計	831,598	754,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	76,860	114,688
株主資本合計	86,860	124,688
純資産合計	86,860	124,688
負債純資産合計	918,458	879,681

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
売上高	2,784,573	2,936,541
売上原価	2,097,691	2,336,797
売上総利益	686,881	599,744
販売費及び一般管理費	551,298	578,529
営業利益	135,583	21,214
営業外収益		
受取利息及び配当金	76	72
助成金収入	22,421	27,345
補助金収入	-	30,280
その他	4,956	5,012
営業外収益合計	27,453	62,709
営業外費用		
支払利息	6,410	5,830
その他	984	144
営業外費用合計	7,395	5,974
経常利益	155,641	77,950
特別利益		
固定資産売却益	359	73
特別利益合計	359	73
特別損失		
固定資産除却損	21	372
減損損失	9,392	5,156
特別損失合計	9,414	5,528
税金等調整前当期純利益	146,586	72,495
法人税、住民税及び事業税	68,178	31,769
法人税等調整額	△16,157	2,897
法人税等合計	52,021	34,667
当期純利益	94,564	37,827
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	94,564	37,827

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
当期純利益	94,564	37,827
包括利益	94,564	37,827
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	94,564	37,827
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	10,000	△17,704	△7,704	△7,704
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益		94,564	94,564	94,564
その他		△0	△0	△0
当期変動額合計	-	94,564	94,564	94,564
当期末残高	10,000	76,860	86,860	86,860

当連結会計年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	10,000	76,860	86,860	86,860
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益		37,827	37,827	37,827
当期変動額合計	-	37,827	37,827	37,827
当期末残高	10,000	114,688	124,688	124,688

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	146,586	72,495
減損損失	9,392	5,156
固定資産除却損	21	372
固定資産売却損益(△は益)	△359	△73
減価償却費	9,548	13,909
敷金償却費	4,959	4,121
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,296	6,362
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,260	1,738
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△28	△31
受取利息及び受取配当金	△76	△72
支払利息	6,410	5,830
売上債権の増減額(△は増加)	△13,538	△16,573
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,243	△4,543
未払消費税等の増減額(△は減少)	△944	△1,255
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△420
仕入債務の増減額(△は減少)	5,000	161
未収入金の増減額(△は増加)	△14,346	△9,498
未払金の増減額(△は減少)	△26,621	5,337
預り金の増減額(△は減少)	△2,606	△7,378
その他	△10,882	24,390
小計	119,830	100,028
利息及び配当金の受取額	76	72
利息の支払額	△6,410	△5,830
法人税等の支払額	△6,874	△99,301
法人税等の還付額	9,766	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,387	△5,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,131	△27,631
有形固定資産の売却による収入	483	90
長期貸付けによる支出	△2,262	△300
長期貸付金の回収による収入	4,343	1,016
敷金及び保証金の差入による支出	△2,314	△2,119
敷金及び保証金の返還による収入	980	1,471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,901	△27,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△66,725	-
長期借入による収入	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△44,177	△94,577
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,903	△44,577
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,582	△77,080
現金及び現金同等物の期首残高	192,160	229,743
現金及び現金同等物の期末残高	229,743	152,662

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、教育サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)		当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	
1株当たりの純資産額	86.86円	1株当たりの純資産額	124.69円
1株当たりの当期純利益	94.56円	1株当たりの当期純利益	37.83円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2024年1月5日付けで、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	94,564	37,827
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	94,564	37,827
普通株式の期中平均株式数(株)	1,000,000	1,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。